

二一八才安徽

第33号

你好安徽



安徽大学で開催された「日本文化祭」
安徽大学举办“日本文化节”活动

Contents

- 日本文化祭
安徽大学日本語教師 奥村 望 (高知大学国際・地域連携センター 客員助教)
- 高知県日中友好協会訪中団
“日中平和の礎を訪ねる旅 (旧満州の地を訪ねる旅)”
NPO 法人高知県日中友好協会 会長 鈴木 康夫
- 友好交流の促進による中日両国のウイソーウインの実現
元高知大学修士課程 留学生 蔣 奇武
- 資料紹介
(提供：高知県安徽省友好交流委員会 前幹事 江淵 征香)
- 高知での生活を振り返って
高知県国際交流員 黄 燕

- 日本文化节
安徽大学日语教师 奥村 望 (高知大学国際・地区合作中心客席助教)
- 高知县日中友好协会访中団
“参拜日中和平纪念碑之旅 (访问东三省之旅)”
NPO 法人高知县日中友好协会 会长 铃木 康夫
- 积极沟通 坦诚交流 实现共赢
高知大学硕士毕业生 蒋奇武
- 资料简介
提供：高知县安徽省友好交流委员会 原干事 江渊征香
- 高知生活回顾
高知县国际交流员 黄 燕



「日中友好・平和の礎」除幕式 (2008年7月 黒竜江省虎林市)
“日中友好和平之碑”揭幕仪式 (2008年7月 黒竜江省虎林市)



日本文化祭

安徽大学日本語教師 奥村 望 (高知大学国際・地域連携センター 客員助教)

2011年5月14日、安徽大学にて日本文化祭を行いました。毎年恒例の行事というわけではなく、日本語サークルが主体となった、学生たち自ら企画・運営するイベントです。そのため、予算もありません。もともとこのようなことをしたいという企画はずっとあったのですが、よし今こそやろう、と学生が思いきったきっかけはやはり東日本大震災のようでした。



「日本文化祭」ステージ上で行われた浴衣の着付け
“日本文化节”舞台上试穿浴衣

高知県人の私、「先生、よさこい踊りをしたいので教えてください」と言われた時はとても嬉しかったです。しかし、その後もそれぞれ担当の学生から、茶道はできますか？書道は？柔道は？華道は？寿司は？着物は何着持っていますか…と続く質問。私はスーパーマンかと思いました。おもしろ、[じゃあ皆さんは誰でも太極拳や雑技ができますか？]と言うと、笑っていました。しかし、日本人の代表としてやってきているので、その期待に応えられるように、



「日本文化祭」ステージ上で行われたコスプレ
“日本文化节”舞台上角色扮演

やはり日本文化は全部見せてあげられるようにしたいものだ、とも思いました。

よさこいのためのハッピーは高知県安徽省友好交流委員会様より、鳴子はJICA様よりお借りできました。音楽や振付けDVDは高知大学のよさこいチーム旅鯨人の学生たちが送ってくれ、その他の小道具は安徽省に駐在している日本人の会社員の方々にもご協力頂きました。今回のイベントの主旨や主体は学生であるということを伝えると、皆さま快くご協力くださいました。本当に感謝しています。

内容は以下になりました。

- ステージ：よさこい踊り、浴衣の着付け、二胡演奏、高知大学留学生による歌、日本語学科学生による歌、京劇、アニメのアフレコ、じゃんけん大会、コスプレ
- ブース：茶道、書道、日本料理、将棋、おみくじ、絵馬、浴衣の試着

日本文化节

安徽大学日语教师 奥村 望 (高知大学国際・地区合作中心客座助教)

2011年5月4日、安徽大学举办了日本文化节活动。本活动以日语社团为主，由学生自己筹划、管理，并非每年举办，学校也不提供预算补贴。本来举办日本文化节活动的想法一直存在，由于东日本大地震的发生，学生便把它提上了日程。

作为一名高知县人，当学生们跟我说“老师，请教我们跳夜来节舞蹈吧”的时候，我非常高兴。可是紧接着负责不同项目的学生们接二连三的过来问我：会不会茶道？书法？柔道？插花？寿司？带了几件和服……估计他们把我当成超人。于是我不禁反问道“你们有谁会太极拳或是杂技呢？”，大家一听都笑了。但是最终我还是决定尽可能地把所有的日本文化都展示给他们看，因为我作为日本人的代表来到这里，应该尽量满足大家的期待。

夜来节舞蹈的服装是从高知县安徽省友好交流委员会

借的，道具鸣子是从JICA借的。音乐和舞蹈动作DVD是由高知大学夜来节舞蹈队“旅鯨人”的学生们寄来的，其他的小道具是驻安徽省的日籍员工一起帮忙制作的。以上各单位人员得知本活动的主旨和参加主体都是学生后，均给予了大力的支持。在此一并表示感谢。

本次活动的主要内容如下。

- 舞台：夜来节舞蹈、和服的穿法演示、二胡演奏、高知大学留学生歌曲演唱、日语专业学生歌曲演唱、京剧、动漫配音、猜拳大赛、角色扮演
- 展区：茶道、书法、日本美食、日本象棋、神签、绘马（许愿的匾额）、浴衣试穿

活动当天共300人到场，盛况空前。其中最受欢迎的节目当属夜来节舞蹈、配音、角色扮演和浴衣试穿。正统舞蹈的传统氛围浓厚、非常有趣，动漫和漫画更是汇集



震災からの早期復興を願う安徽大学の学生たち
安徽大学学生为东日本大地震受灾群众祈福

当日は300人程度集客の大盛況。中でも人気があったものは、よさこい踊りやアフレコ、コスプレ、浴衣の試着です。正調踊りの伝統的な雰囲気面白いと受入れられるとともに、やはりアニメや漫画の人気も絶大。このように、日中の文化比較だけではなく、昔と現代の文化比較もできるような内容になったのが今回の成功の要因の一つだったと思います。

日本の文化紹介というと、なぜか昭和のけん玉やお手玉遊び、かるた遊びなどを想像しがちですが、今の日本文化はアニメに代表されるような、目にも美しくファッションナブルなものだと捉えている若者が多いようです。日本料理は予算の関係もありましたが、食べるということがメインではなく、綺麗に作られた料理の写真を撮るだけ。これもファッションナブルに捉えられていると言える一つの特徴ではないかと思えます。

そのためか、茶道の良さをわかった学生は少なかったようにも思えます。実演のお茶を飲んだ学生は「なぜこんなに苦いものが…」という面白い顔。

最近の経済発展も目覚ましく、派手で豪華なパフォーマンスが好まれがちな中国では、わび・さびや、渋さのような言葉はピンとこないようです。

文化祭後には、高知県のみなさんにお礼の手紙を書きました。主に活動した1年生が書いたため、日本語の文章もまだまだです。ある学生は、「いつか高知県に留学して、綺麗な桜が見たい」と書きたいのに、「いつか桜前線が見たい」と書いてしまいました。きっと少しでもかっこいい言葉を、と思って選んだ言葉だと思うと、とても心が温まります。

人間関係において内と外がはっきりしている中国。外では競争するが、一旦“内の人”つまり信頼できる関係になると結束を強め、何があっても助け合う、という感じがします。その点で高知県は、安徽省にとってはもう身内の存在だと思います。よさこい踊りは、今後は備品を学生たちが自分たちでなんとか手配して毎年披露する、とのこと。これから内の存在でいられるように、またその期待に応えられるように、高知県と安徽省の友好のため精進したいと思います。



「日本文化祭」ブースで行われた絵馬づくり(右端：筆者)
“日本文化节”展区里写绘马(右端：作者)

了超高的人气。我觉得本次活动的成功举办不仅在于中日文化间的横向比较，更得益于传统文化和现代文化碰撞产生的美丽火花。



「日本文化祭」で好評の浴衣の着付け
“日本文化节”上广受好评的浴衣试穿

一说起介绍日本文化，不知为何大家总是容易联想到昭和时代的剑玉、扔沙包、纸牌游戏等。不过现在也有很多年轻人已经开始把眼光放到以漫画为代表的时尚元素上了。本次文化节虽然设置了日本美食的环节，但因为资金有限，所以仅供拍照，无法满足大家的品尝欲望。拍摄外观精致的美食应该也算是捕捉时尚元素的一个方面吧。

但也可能因为这个原因，能够领会茶道精神的学生并不多。品过茶的学生都是一副“怎么那么苦”的搞笑表情。在经济日益发展、崇尚豪华表演的中国，静雅、恬淡、苦涩这样的词语反而不被理解了。

文化节活动结束后，我们给高知县的各位寄去了感谢信。基本上都是参加活动的1年级学生写的，所以日语行文还不太通顺。一个学生原本想写“将来想去高知留学，去看美丽的樱花”，但是却写成了“将来想去看樱花前线”。他一定是觉得这样写更有意思，才特意选择这个词的，这样想来便觉得十分温馨。

中国是一个人际交往时内外有别的国家。我感到虽然外部之间竞争激烈，但一旦成为“自己人”，即彼此之间建立良好的信赖关系后，便会互相帮助。从这个角度考虑，高知县应该可以说是安徽省的亲密伙伴了。比如今后学生将自行准备夜来节舞蹈用品，以便每年表演使用。我期待高知县和安徽省今后更加亲密无间，携手共进。

高知県日中友好協会訪中団



NPO 法人高知県日中友好協会
会長 鈴木 康夫



“日中平和の礎を訪ねる旅(旧満州の地を訪ねる旅)”

2011年9月17日から7泊8日の日程で牡丹江、虎林（虎頭）、ハルピン、長春、大連の各地を訪ねた。

高知県日中友好協会顧問であり、中国残留孤児等国家賠償訴訟高知弁護団長 藤原充子先生、東京原告団代表の池田澄江さん等の御尽力によって中国黒竜江省虎林市虎頭友好公園に建立した“日中友好・平和の礎（感謝養父母）”の参拝が主たる目的であった。



牡丹江駅
牡丹江车站

不覚にも石碑が設置されている友好公園の近くまで行ったが入園参拝することができなかった。

当日が満州事変の発端となった1931年の柳条湖事件が起こった日であった。



虎頭要塞跡
虎头要塞遗址

今年で80年の節目に当たるため事件が起きた遼寧省瀋陽市の「九・一八歴史博物館」で記念式典が行われ遼寧、吉林、黒竜江の東北3省が初めて共同主催で行われ発生日にちなんで午前9時18分にサイレンを鳴らすなどして抗日戦争の犠牲者の追悼が行われ、3省の幹部や市民が「国辱を忘れるな」と記された鐘を鳴らしたと当日の様子が報道されている。

虎頭市人民政府は日本からの私たち訪問団がトラブルに巻き込まれないよう、配慮され記念碑での交流集会を中止としたのである。私たちは公園の外から全員で記念碑に向かって手を合わせ拝礼をした。

高知県日中友好協会訪中団



NPO 法人高知県日中友好協会
会長 鈴木 康夫



“参拜日中和平纪念碑之旅(访问东三省之旅)”

2011年9月17日起我们启程前往牡丹江、虎林（虎头）、哈尔滨、长春、大连等地，进行为期8天7夜的访问之旅。

通过高知県日中友好協会顧問、中国残留孤児等国家賠償訴訟高知弁護団長藤原充子老师、東京原告団代表池田澄江先生等の积极努力，于2008年7月在中国黒竜江省虎林市虎头友好公園矗立了“日中友好、和平之碑（感謝養父母）”，以供参拜纪念。

但是不曾想我们到了树立有纪念碑的友好公园附近，却没能入园参拜。

因为当天恰值1931年柳条湖事件（九一八事变由此开始）纪念日。

据报导，今年时值九一八事变发生八十周年，由辽宁、吉林、黑龙江东北三省共同携手，首次在事件发生地辽宁省沈阳市“九一八历史博物馆”举办了纪念活动。当天上午9点18分警钟长鸣，以追悼抗日战争中的牺牲者。3

公園の直ぐ北側には激しい流れのウスリー河がある。66年前の1945年8月9日、ソ連軍が怒涛の勢いで渡河し満州に侵攻してきた。そこで日本軍の虎頭要塞との激しい攻防戦が行われた。日本軍守備隊約1,400名はソ連の圧倒的な装備、人員によって玉砕した。軍宿舎に住む婦女子や虎林の町の在留邦人約500人には逸早く避難命令が出され着の身着のまま避難列車に乗って脱出したが、その後の満州脱出の詳細は定かでない。



記念撮影（ウスリー河にて）
在烏蘇里江畔留影

「滿蒙終戦史」によると帰国者の数は104万7千人に達している。ほかに関東州地区の引揚者が20万6千人、朝鮮半島経由の帰国者が5万人とされている。在満日本人の死者は18万694人と記されており、その大半が1945年（昭和20年）と1946年（昭和21年）に亡くなったとしている。

今回の記念碑を訪ねる旅は、虎頭要塞跡や遺跡博物館、第二次世界大戦終戦記念園等の現地を見て戦争は、勝った負けたではなく多くの人民が犠牲となる誠に愚かな行為であると心に深く残る旅であった。



スターリン公園（ハルピン市）
斯大林公園（哈尔滨市）



記念撮影（ハルピン市聖ソフィア大聖堂にて）
在哈尔滨市圣索菲亚大教堂前留影

省干部和市民还举行了“勿忘国耻”撞钟仪式。

为避免我们访问团成员卷入麻烦中，虎林市人民政府暂停了原定在纪念碑前举行的交流活动。我们仅从公园外面向园内纪念碑方向双手合十参拜了一下。

公园北侧有水流湍急的乌苏里江。66年前的1945年8月9日苏联军以破竹之势渡过此江攻占中国东北部。约1400名日本军守备队员在苏联强大的装备和充足的军员的进攻下全军覆没。留守在驻军营地的妇女和虎林市内约500名日本人，接到逃难的命令后连行李都顾不上整理就急急忙忙地跳上火车逃难去了，但是最后成功逃离东北三省的人数不详。

据《滿蒙終戦史》记载，回国人数达104.7万。其

他还有20.6万人从关东州地区返回、5万人经由朝鲜半岛返回。死于东北三省的日本人有18万694人，其中大部分都死于1945年（昭和20年）到1946年（昭和21年）间。

不论是参拜纪念碑之旅，还是我们在虎头要塞遗址、遗址博物馆、第二次世界大战停战纪念馆等地亲身感受到的战争的残酷性，都将使我们牢记以牺牲众多人民的生命为代价的战争行为不论胜负，都是极其愚蠢的。



筆者
作者

友好交流の促進による 中日両国のウィン-ウインの実現

元高知大学修士課程 留学生 蔣 奇武



いよいよ新しい一年の春を迎えます。私が日本から帰国して、もうそろそろ一年になります。高知での二年

間、大学の中での勉強だけでなく、様々な人との出会いがありました。留学生活の全てが、いろいろな体験や見聞ができる勉強の場となりました。

高知の最西端の足摺岬と、東の室戸岬、それぞれの灯台では、直線ではない水平線を初めて見ることができました。梶ヶ森では龍王の滝を見たり、竜串海岸では自然の神業を感じることができました。

土佐山内家宝物資料館や高知県立坂本龍馬記念館では、近代日本史における土佐の位置づけが分かりました。四万十川では屋形船に乗り、日曜市では買い物をしたり、桂浜の竜馬像の下では、竜馬の隠された右手に握られている物はいったいピストルであろうか、辞書であろうかということを考えてみました。



このように、高知滞在中の二年間では高知の歴史・文化・自然景観を堪能することができました。



また、高知を訪問された安徽高等職業教育交流訪問団や安徽省総工会交流訪問団などの通訳を経験することもできました。こういった活動をとおして、中国と日本の友好交流の大切さを自ら感じることができました。

国と国との関係は、結局は人と人との交流が基本となります。周囲の人からよく「日本という国、あるいは日本人とは、いったいどうでしょうか。」と聞かれます。そのとき私は「人によって様々な答えが出てくるかもしれない。自分が自ら日本へ行かなければ、自ら日本人と話さなければ、結局自分には発言権がない。」と答えます。

個人レベル、草の根レベルでの交流こそ実のある相互理解を生み、その経験を積み重ねていくことで、結果的に中日関係が改善されていくのだと思います。日本で生活した一留学生として、中国と日本の間に真のウィン-ウインの関係が実現されることを信じ、また心から願っています。

积极沟通 坦诚交流 实现共赢

高知大学硕士毕业生 蔣 奇武



又是一年春将到。转眼间我从日本回国也快要到一年了。在日本的这两年，无论是在大学的学习还是与各类人的接触，其间的各种体

验和见闻所组成的留学生活对我来说其本身就是一种学习。

从高知的最南边足摺岬到最北边的户室岬，首次看到了地平线竟然不是笔直的。在梶森山看龙王瀑布到龙串海岸唏嘘大自然的鬼斧神工，在土佐山内家宝物资料馆和高

知县立坂本龙马纪念馆了解了土佐在近代日本史上的位置，在四万十川上泛舟，去星期天集市购物观光。站在桂浜的龙马铜像下思考他那揣在怀里的右手里到底握着的是枪还是字典？在这两年里，我游历了高知的历史人文以及自然景观。

在高知的两年时间里，我有幸作为安徽高等职业教育交流访问团和安徽省总工会交流访问团的翻译，见证了双方在相互交流的相关领域里积极深入坦诚的交流。

国家与国家的交往说到底还是要通过人与人之间的交流去实现的。我经常对周围人说的的一句话是：“日本和日本人到底怎么样可能大家的说法都不一样，但是自己不去亲身经历总是没有发言权的。”作为一个留日的留学生我真心希望中日之间的草根交流不断加强。我坚信只要积极沟通，坦诚交流，中日必能实现共赢。

資料紹介

提供：高知県安徽省友好交流委員会 前幹事 江瀨 征香

長年、日中友好促進高知県議会議員連盟事務局長として、日中両国の友好交流の促進にご活躍され、この度退任されました当友好交流委員会 前幹事の江瀨

征香様から、これまでの訪中や訪問団の受け入れの様子など、貴重な写真をご提供いただきましたので、紹介します。



資料简介

本友好交流委員会原幹事江瀨征香先生辞去日中友好促進高知縣議會議員聯盟事務局局長一職。江瀨征香先生長

提供：高知縣安徽省友好交流委員會 原幹事 江瀨征香

期以來一直致力於中日兩國間的友好交流活動，特為本刊提供了歷年訪中和接待中國訪問團的珍貴照片。

高知での生活を振り返って

高知県国際交流員 黄 燕

今年のお正月は帰国も旅行もせずに、高知でゆっくりと過ごしました。元旦に初詣をしようと思って、潮江天満宮に行きました。入口の鳥居から社殿までの参道で大勢の人々が物凄く長い行列に並んでいるのを見て、びっ



くりしました。長蛇の列にもかかわらず、参拝の人がつぎつぎに並んでくるので、行列が短くなる可能性は全くないと思いました。そして、参拝せずに数枚の写真を撮っただけで帰りました。

翌日、友人と一緒にまた潮江天満宮に行きまし

た。前日と比べると行列が少し短くなったが、やはり予想より長いと思いました。結局、二回目も参拝せずに、アンパンマンのカステラを買って、高知大神宮に行ってしまいました。幸いなことに、高知大神宮で並ばずに初詣でができ、おみくじで「大吉」も引きました。ところが、帰りの道でいきなり悲しいことに気付きました。初詣をする時、中国語で祈願したことです。ようやく初詣でできたのに、神様に中国語が通じないせいで、私のお祈りが叶わなくなるのは何より悲しいと思いました。

「大丈夫だよ。神様だから。何でも分かる。」と友人の優しい言葉を聞いてから安心しました。(笑)

ところで、高知での生活も残りわずかとなりました。振り返ってみると、美しい思い出が数えられないほどたくさんあります。

仕事を通じて知り合った安徽省



日中友好の森づくりネットワークの中森さんに誘っていただき、昨年の夏には天狗高原に遊びに行きました。山頂にある緑豊かな草原にカルストの石灰岩が点在し、放牧された牛がのんびりと草を食べている風景を見ると、まるで絵の中に入ってきたような気がしました。安徽省という内陸の平野地で生まれ育った私にとって、高原は海と同じような迫力満点のところだと言えます。それから、天狗高原を越えて近くの森林へ600年の歴史を持っているトチノキを観に行きました。一緒に行った皆さんは年齢を問わず非常に元気でした。森の中で散策したり、マイナスイオンを吸ったりして、持参の弁当を食べて心身がリラックスする一日を過ごしました。

また、県庁観光政策課が主催した観光モニターツアーにも、三回参加し、いろんな国の参加者と一緒に高知県内あちこちの観光スポットに連れてってもらいました。昨年10月には、世界ジオパークに認定された室戸にも行きました。地質変遷で隆起した海岸を見ながら、空海の修行などに関するの物語や説明をガイドさんからいろいろ聞かせてもらいました。そして、室戸はもちろん、高知県の自然環境や人文文化などをもっと詳しく理解できるようになったと思います。その後、「シレストむろと」という海洋深層水のプールにも入りました。最後に、NHK番組の取材を受けた時、「美しい自然を持っている高知県をもっと多くの外国人観光客に知ってほしい。」と言いました。

高知での滞在はそろそろ二年間になります。人生何十年間の生涯と比べたら、二年間はわずかな時間でしょう。だが、いくら時間が経ってもいくら距離を離れても、ここで過ごした日々と出会った人々が忘れられない存在だと信じています。時の流れが速いと思うが、たっぷり体験した高知の美しい風景と出会った土佐の人との素晴らしい思い出は心の中にいっぱい残っています。



高知生活回顧

高知県国際交流員 黄 燕

今年元旦长假我没有回国，也没有出门旅游，而是留在高知悠闲地享受静谧时光。元旦那天我打算去潮江天满宫做年初参拜。到了地方，才惊讶地发现从入口处到社殿的参拜路上排起了长龙，而且前来参拜的人络绎不绝，整个队伍完全没有缩短的迹象。于是，我放弃了参拜的想法，仅照了几张相片就回去了。

第二天，约上朋友一起又去了潮江天满宫。虽然参拜的队伍跟前一天比起来短了不少，但是还是超出我的预想，于是在路边买了面包超人的小点心后我们决定前往高知大神宫。终于，在那里无需排队顺利完成参拜，而且我还幸运地抽到了一张“上上”签。可是，回去的路上突然想起：参拜的时候我用汉语许的愿。。哎呀，这下完了，如果神仙听不懂汉语，那我的愿望岂不是无法实现了。。

“没事的。神仙嘛，自然是什么都懂的。”听到朋友安慰的话语，我不禁长舒了一口气。(笑)

过完元旦，在高知的生活也所剩无几了。回顾过去，美丽回忆数不胜数。

去年夏天，我和在工作中结识的安徽省日中友好森林植树网的中森先生一起去了天狗高原。登上山顶放眼望去，绿油油的草原上点缀着无数喀什特石灰岩塔，放养的牛儿悠闲地吃着青草，宛如进入了一

副美丽的油画世界。对生在内陆，长在平原的我来说，高原和大海一样是充满了无限魅力，令我神往的地方。越过天狗高原，我们又前往附近的森林，去观赏了有600年树龄的日本七叶树。同行的人们不分老幼，全部都精神抖擞地在森林里漫步、呼吸，享用自带的便当，一同度过了身心愉悦的欢乐时光。

另外，我还参加过三次县厅观光政策课举办的体验旅行团，和许多不同国籍的朋友们一起参观了高知县内各处有名的景点。10月份，我们去了被认定为世界地质公园的室户。一边观赏着因地质变迁隆起的雄壮海岸，一边听导游解说空海的故事等，让我不禁对室户和整个高知县的自然环境及人文文化等有了进一步的了解。顺便我们还去了“室户 sea rest”，那里有用深层海洋水建成的大游泳池。最后，在接受NHK节目组采访时我回答到：希望能有更多的外国游客来了解美丽的高知。

转眼已在高知待了近两年。两年的时间跟人生几十年的长河比起来不过是冰山一隅，但是不论将来过了多久，不论我身在何处，都不会忘记在这里度过的快乐时光及结识的友人。任时光匆匆，高知的美景及和热情好客土佐人们一起留下的美好回忆将永驻心田。

発行：高知県安徽省友好交流委員会

中国語翻訳：黄 燕

事務局 〒780-0870 高知市本町4-1-37

(公財)高知県国際交流協会内

Tel/088-875-0022 Fax/088-875-4929

E-mail/info_kia@kochi-kia.or.jp

Homepage/http://www.kochi-kia.or.jp/

会員募集中!!

個人年会費：2,000円

団体年会費：10,000円

詳しくは
事務局まで